

<記入例>災害住宅貸付の場合

様式第1号の2(第8条関係)

申込金額が10万円以上の場合、必ずどちらかを選択して囲む。

貸付申込書

共済組合受付印

住宅 在宅介護対応住宅 災害住宅

申込金額	千万	百万	十万	万	千	百	十	円	団体信用生命保険 (申込金額10万円以上の 場合、いずれかを囲む)	<input checked="" type="radio"/> 加入	<input type="radio"/> 非加入
		7	0	0	0	0	0	0			

申込事由 (具体的に 記入のこと)	豪雨により被災し、自己居住用住宅の 修繕資金が必要なため。	住宅貸付借替希望欄	
	据置希望 あり 据置期間〇〇ヶ月	<input checked="" type="radio"/> する	<input type="radio"/> しない

申込人	所属所名	〇〇市	資格取得 年月日	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日
	組合員 証番号	第 100 号	組合員期間	20 年 0 ヶ月
	ふりがな	おかやま たろう	給料月額	350,000 円
	氏名	岡山 太郎		

岡山県市町村職員共済組合貸付規程に基づき、上記の貸付を受けたく申込みいたします。

平成 〇〇 年 〇 月 〇 日

申込人氏名 岡山 太郎

岡山県市町村職員共済組合貸付規程第8条第4項の規程に基づき、上記貸付申込人に係る貸付事由・借用金額及び給与支給状況等の償還能力を調査し、事実と相違ないものと認めます。

平成 〇〇 年 〇 月 〇 日

岡山県市町村職員共済組合理事長 殿

所属所長 〇〇市長 岡山一郎

【用語の説明】

※借替※

借替(かりかえ)とは、既に借入れがある方が別の事由で再び同じ種別の貸付を受ける際に、既借入分の未償還元金を新規借入分の貸付金額から差し引いて借り入れることにより1つの貸付として取扱うことです。対象となる貸付種別は普通貸付・住宅貸付で、1つの貸付として取扱うことにより、月々やボーナス時の返済負担を軽減できます。

※他の金融機関等で借りた貸付を借替することはできません。

償還額等		決 裁	事務局長	課 長	課長補佐	係 長	係
償還回数	回						
償還額	円						
ボーナス償還額	円						

(注) 1. 貸付申込時に必ず印鑑登録証明書及び借入状況等申告書を添付の上、申込人の印は印鑑登録証明書記載の印鑑を押印すること。

2. 表面太枠内及び裏面貸付申込物件状況欄を記入の上、貸付規程細則第3条による添付書類を完備すること。

(施行届、見積書には必ず請負業者等の押印のあるものを添付すること。)

3. 団体信用生命保険に加入する場合、所定の加入申込書を添付すること。

4. 貸付金は共済組合に登録の「給付金受取口座」へ送金します。

送金口座を変更されたい場合、給付金受取口座登録届を貸付申込書に添付し、口座変更の手続きを行ってください。

5. 在宅介護対応住宅貸付に係る見積書及び平面図については、その対象となる部分が記載されたものを添付すること。

申込種別をチェック

据置希望の有無と据置希望期間をご記入下さい。

現に償還中の住宅貸付がある場合どちらかを選択して囲む。

「印鑑登録証明書」の印鑑を押印

貸付申込物件の状況

所在地		岡山市北区駅前町〇丁目△△番地×××号				
申込事由 (いづれかを囲む)	新築	木造 2階建・床面積 165 m ² 室数 7 室				
	増改築 修理	工事面積 m ² 既存部分との合計		m ² 室数 室		
	家屋購入	造 階建・床面積 m ² 室数 室				
	敷地購入	面積 m ²	地目	宅地・山林・農地・その他()		
申込物件の 名義人	住宅	自己所有・親族所有(氏名 続柄)・借家				
	敷地	自己所有・親族所有(氏名 続柄)・借地				
同居家族の状況	祖父・祖母・父・母・兄・姉・弟・妹・配偶者・子供 その他			3 人		
完成(購入)予定日	平成 〇〇 年 〇 月 〇 日					
現住 宅の 状況	現住所	岡山市北区駅前町〇丁目△△番地×××号				
	同居家族の状況	祖父・祖母・父・母・兄・姉・弟・妹・配偶者・子供 その他			3 人	
	住宅の名義	自己所有・親族所有(氏名 続柄)・借家				
	敷地の名義	自己所有・親族所有(氏名 続柄)・借地				
	構造	木造 2階建・床面積 100 m ² 室数 5 室				
	処分方法	売却 解体・返還・親が居住・その他()				
資 金 計 画	借入先	借入金額	償還期間	備考		
	貸付申込額	7,000,000円	20 年			
	自己資金	10,000,000円	/			
	住宅金融支援機構	13,000,000円			25 年	
	()より借入金	円	年			
	()より借入金	円	年			
	()より借入金	円	年			
	合計	30,000,000円	/			

共有名義の場合は、自己所有・親族所有の両方を囲み、共有者を()内に記入する。